

スポーツの楽しさを学ぶ—松浦市運動部活動活性化推進事業—

松浦市運動部活動活性化推進事業の一環で各スポーツ教室が開催されました。指導力と競技力の向上を図ることにより、運動部活動に意欲的に参加する生徒を育てることを目的として教育委員会が開催しています。

巨人軍OB軟式野球教室

1月16日には巨人軍OBによる軟式野球教室が、松浦東高校グラウンドで行われました。

この日は、巨人軍OBの橋本清選手と清水崇行選手からバッティングの基本やピッチングフォーム、守備の捕球の仕方などの指導を受けました。

この日参加した市内中学校軟式野球部員と指導者約100人は、プロの技術を間近に見ながら熱心に指導を受けていました。



短距離走の基本を指導

1月19日には陸上競技教室が、御厨中学校と志佐中学校で開催されました。

御厨中学校では県内トップレベルの社会人陸上選手でつくる「長崎アスリートクラブ」のメンバー5人が、1、2年生の学年ごとに短距離の基本を指導しました。

御厨中1年の久家伸也君は「アドバイスどおり走ると前より早く走れるようになりました。走る楽しさが分かりました」と話しました。



ランニング教室などで陸上を学ぶ

1月30日には、早稲田大学駅伝部によるランニング教室が御厨中学校で開催されました。また翌31日には笛吹ダム周回道路で、中学校合同駅伝競走競技会と小学生ロードレースが行われました。

同競技会とロードレースには同駅伝部選手が並走してレースを盛り上げました。結果は次の通りです。

【中学校合同駅伝競走競技会】(上位3位まで記載)

○男子の部 (9.84*₀)

- ①今福駅伝A 32分32秒 ②志佐駅伝 33分11秒
- ③福島野球A 33分46秒

○女子の部 (7.54*₀)

- ①志佐駅伝 28分58秒 ②福島テニスA 32分07秒
- ③志佐バレー 32分18秒

【小学生ロードレース】(上位3位まで記載)

○小学男子 (2.0*₀)

- 5年 ①堤 真人 7分06秒 ②宮本文徳 7分13秒
- ③久家椋太 7分25秒
- 6年 ①北村英毅 7分24秒 ②田中友巳 7分28秒
- ③真弓翔吾 7分30秒

○小学女子 (2.0*₀)

- 5年 ①和田 楓 8分15秒 ②田中静華 8分17秒
- ③泊 愛里 8分37秒
- 6年 ①岩佐理子 8分13秒 ②泊千里香 8分30秒
- ③濱元 栞 9分27秒



中世の松浦 (16) 鷹島海底遺跡

平成13・14年度の神崎港改修工事に伴う調査では、多くの漆製品が出土しています。しかし、生地をなしていた木素材や鉄素材・皮革素材がフナクイムシによる侵食や海水による腐食などにより失われ、破片化した漆膜となったものが大半を占めています。海底からの出土であるため、取り上げた後の保存処理は極めて難しいものがあります。漆はウルシノキが分泌する樹液を原材料としており、縄文時代から櫛などの装飾品や土器・木器などに塗装されています。漆は塗り重ねると何層にもなった漆膜になります。表面の漆膜の下がどのようなようになっていたのかかわらないためX線を照射して内部構造を探ることもできません。

今回の調査で出土した漆製品には、食器の漆椀、装身具の櫛、武器の弩^とあるいは弓と考えられる木製品があります。左の写真①は、ほぼ完形に近い漆塗りの櫛です。最大幅10・4^{センチ}で蒲鋒型をしています。ほかに同じような櫛が1点と漆を塗っていない櫛(写真②)が3点あります。これらの櫛は元の兵士が髪を直すときに使用していたのでしょうか。



▲鷹島歴史民俗資料館で展示中

フィオナ先生 (オーストラリア出身)

Hot spring New Year 温泉でのお正月

今回の冬もクリスマスとお正月に帰国しないことにして、この素晴らしい時期の日本を楽しみました。温泉で休暇を過ごす以上にくつろいで新年を迎える方法があるでしょうか！冬休みをどのように過ごすか尋ねられて、黒川の коттеージを予約したと応えると、「なんてすてきな、早くに予約をしたんでしょう」「何て日本人的なの!」「まあ、ロマンティック!」。このような返事が返ってきたので、この有名な温泉の町に行くのを楽しみにしていました。

新年の旅行は、私にとって家族のようなALT 2人と行きました。一緒に旅行に行くことと決めた昨年の11月に、旅行雑誌に載っていた宿泊先に電話をしましたが、ほとんどが予約済みか繁忙期のため2倍の価格になっていました。それで、黒川から5分ほど離れたログハウスに滞在することに決めました。そのログハウスは自炊ができるようになっていて、2階建てで石でできたお風呂がありました。そして私たちが到着する前に部屋の暖房を入れてくれて、お風呂もためてくれる親切な管理人さんもいました。

滞在中は、温泉手形を使って、温泉を巡りました。中には洞窟のように感じられるおもしろい温泉もありました。

繁忙期にもかかわらず、黒川の町はとても静かで、私たちがだけがこの町にいるような感じさえました。また、小国町に行って、とてもおいしいそば料理の数々を食べました。元旦には高塚愛宕地蔵尊にお参りして、安全と幸せをお祈りし、おみくじを引きました。私はいまだに「吉」というのが、どのくらいの幸運を意味するのかわかりませんが、今のところ良い年を過ごしています。

九州に住んでいるとこんなすてきなところへすぐ来れるなんて、私はなんて幸運なのかしらと思います。願っていた温泉に入っているときに雪は降りませんが、新年を迎えた黒川は真に天国でした。

来年のお正月も太陽の照りつけるオーストラリアではなく、日本の温かい温泉で過ごそうと、既に考えています。

